



# Cloud Volumes ONTAP 9.9.1 の新機能

## Cloud Volumes ONTAP

Ben Cammett  
July 08, 2021

# 目次

Cloud Volumes ONTAP 9.9.1 の新機能 .....	1
9.9.1 アップデート（2021 年 7 月 7 日） .....	1
9.9.1 アップデート（2021 年 6 月 3 日） .....	1
9.9.1 Release Candidate（2021 年 5 月 24 日） .....	2
必要な Cloud Manager Connector のバージョン .....	2
アップグレードに関する注意事項 .....	2

# Cloud Volumes ONTAP 9.9.1 の新機能

Cloud Volumes ONTAP 9.9.1 には、いくつかの新機能と機能拡張が含まれています。

その他の機能と機能拡張は、Cloud Manager の最新バージョンで導入されました。を参照してください  
["Cloud Manager リリースノート"](#) を参照してください。

## 9.9.1 アップデート（2021 年 7 月 7 日）

Cloud Manager 3.9.8 リリースでは、次の変更が加えられています。

- Cloud Volumes ONTAP では、新しい充電方法を利用できます。
  - \* 容量ベースの BYOL \* : 容量ベースのライセンスでは、TiB あたりの Cloud Volumes ONTAP 料金を支払うことができます。ライセンスはネットアップアカウントに関連付けられており、ライセンスに十分な容量があるかぎり、複数の Cloud Volumes ONTAP システムを作成することができます。容量ベースのライセンスは、*Essential\_or\_Professional* のいずれかのパッケージ形式で提供されます。
  - \* Freemium offering \* : Freemium により、ネットアップのすべての Cloud Volumes ONTAP 機能を無償で使用できます（クラウドプロバイダの料金は引き続き適用されます）。システムあたりの割り当て容量は 500 GB に制限されており、サポート契約はありません。最大 10 個の Freemium システムを使用できます。

["これらのライセンスオプションの詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

- AWS では、Cloud Volumes ONTAP が m5dn.24xlarge インスタンスタイプをサポートするようになりました。料金には、PAYGO Premium、容量ベースのライセンス（BYOL）、ノードベースのライセンス（BYOL）があります。
- Google Cloud では、Cloud Volumes ONTAP が Balanced Persistent Disk（pd-bBalanced）をサポートするようになりました。この SSD は、GB あたりの IOPS を下げて、パフォーマンスとコストのバランスを取ります。
- Google Cloud の新しい Cloud Volumes ONTAP システムでは、custom-4-16384 マシンタイプはサポートされなくなりました。

このタイプのマシンで既存のシステムを実行している場合は、引き続き使用できますが、n2 標準 -4 マシンタイプに切り替えることをお勧めします。

["Cloud Manager の新機能については、こちらをご覧ください"](#)。

## 9.9.1 アップデート（2021 年 6 月 3 日）

最近の Cloud Manager 3.9.7 リリースでは、新しいプロフェッショナルパッケージのサポートが導入されています。このパッケージを使用すると、AWS Marketplace で年単位の契約を締結して Cloud Volumes ONTAP と Cloud Backup Service をバンドルできます。

["このライセンスオプションの詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

## 9.9.1 Release Candidate（2021 年 5 月 24 日）

Cloud Volumes ONTAP 9.9.1 Release Candidate は、AWS、Azure、Google Cloud Platform で提供されるようになりました。

で導入された機能に加えて **"ONTAP 9.9.1"**このリリースの Cloud Volumes ONTAP には、次の機能が含まれています。

- [\[ONTAP S3 support in Azure\]](#)
- [\[Enhanced performance in AWS with high write speed\]](#)
- [\[io2 boot disk in AWS\]](#)

### Azure での ONTAP S3 のサポート

Azure の Cloud Volumes ONTAP から S3 オブジェクトストレージを提供できるようになりました。Cloud Volumes ONTAP for Microsoft Azure では、NFS や SMB などの従来型のファイルベースプロトコルに加え、スケールアウトストレージのオプションとして S3 をサポートしています。

次の点に注意してください。

- Cloud Volumes ONTAP S3 と ONTAP の主なユースケースは、汎用のオブジェクトストアです。
- 現時点では、AWS の Cloud Volumes ONTAP や Google Cloud では S3 プロトコルはサポートされていません。
- Cloud Manager には、ONTAP S3 機能に対する管理機能はありません。

CLI を使用することが、Cloud Volumes ONTAP からの S3 クライアントアクセスを設定するためのベストプラクティスです。詳細については、[を参照してください "S3 構成パワーガイド"](#)。

### 高速の書き込み速度で AWS のパフォーマンスが向上します

Cloud Volumes ONTAP のスループットパフォーマンスが向上しました。いつ **"高速の書き込み速度"** サポートされているインスタンスタイプで有効になっている。

### IO2：AWS でブートディスクを使用します

AWS では、新しい Cloud Volumes ONTAP システムのブートディスクがプロビジョニングされた IOPS SSD（IO2）ボリュームになります。IO2 ボリュームは、以前はブートディスクに使用されていた io1 ボリュームよりも信頼性が高くなります。

## 必要な Cloud Manager Connector のバージョン

新しい Cloud Volumes ONTAP 9.9.1 システムを導入し、既存のシステムを 9.1.1 にアップグレードするには、Cloud Manager Connector のバージョン 3.9.6 以降が実行されている必要があります。

## アップグレードに関する注意事項

- Cloud Volumes ONTAP のアップグレードが Cloud Manager から完了している必要があります。System Manager または CLI を使用して Cloud Volumes ONTAP をアップグレードしないでください。これを行う

と、システムの安定性に影響を与える可能性

- 9.9.0 リリースおよび 9.8 リリースから Cloud Volumes ONTAP 9.9.1 にアップグレードできます。Cloud Volumes ONTAP 9.9.0 および 9.8 システムから 9.9.1 リリースへのアップグレードを求めるプロンプトが Cloud Manager に表示されます。

"Cloud Manager から通知された場合のアップグレード方法について説明します"。

- シングルノードシステムのアップグレードでは、I/O が中断されるまで最大 25 分間システムがオフラインになります。
- HA ペアのアップグレードは無停止で、I/O が中断されません。無停止アップグレードでは、各ノードが連携してアップグレードされ、クライアントへの I/O の提供が継続されます。

## **C4、M4、および R4 インスタンスタイプ**

9.8 リリース以降では、新しい Cloud Volumes ONTAP システムで C4、M4、および R4 インスタンスタイプはサポートされません。C4、M4、または R4 インスタンスタイプで実行されている既存の Cloud Volumes ONTAP システムがある場合も、このリリースにアップグレードできます。

C5、m5、または r5 インスタンスファミリーのインスタンスタイプに変更することをお勧めします。

## Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

## Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.